



平成 31 年 1 月 31 日

各 位

上場会社名 中央魚類株式会社
代表者名 代表取締役会長 伊藤裕康
(コード番号 8030 東証第二部)
問合せ先責任者 常務取締役執行役員管理本部本部長 三田 薫
(TEL. 03-6633-3000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 30 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	198,900	840	910	430	107.63
今 回 修 正 予 想 (B)	195,500	350	470	140	35.04
増 減 額 (B-A)	△3,400	△490	△440	△290	
増 減 率 (%)	△1.7	△58.3	△48.4	△67.4	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 30 年 3 月 期)	199,915	871	1,111	327	81.91

2. 修正の理由

売上高については、水産物卸売事業における冷凍水産物等の売上減少が響き、当初の予想を下回る見込みとなりました。また、営業利益については、水産物卸売事業の売上高減少による影響（約 330 百万円）、及び冷蔵倉庫事業の競合他社の影響による稼働率低下（約 80 百万円）、水産物卸売事業・冷蔵倉庫事業両部門の豊洲移転に伴う費用の増加等（約 80 百万円）があり、当初の予想を下回る見込みとなりました。

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も同様の理由で修正致します。

* 上記予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は本予想と異なる可能性があります。

以上